

みいでら かね ず べんけい
三井寺の鐘を引き摺る 辨慶は
にょにんもうで しるなべ
女人詣に汁鍋残す

令和六年四月十一日

大中臣正比呂



僧兵となった弁慶は、三井寺に乱入して梵鐘を引き摺って比叡山に持ち去ったという。何度も比叡山の襲撃を受けた三井寺が蘇ったのは、政治が片方を近江経済力で支援したからである。宗門が力を持った時に繰り返される均衡政策である。泰平の江戸時代には、僧兵が炊き出しに使った汁鍋が「女人詣」の参拝客に使われたと「近江名所図会」にある。令和の観光では、若い女性は寺の精進料理を食べに来るらしい。